

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【垣生小学校】

### <第3学年：大好き・垣生の町>

3年生は、総合的な学習の時間に、地域の「人・もの・自然」のよさを学ぶ活動に取り組んでいる。

本年度は、1学期に地域の自然について、2学期に地域の産業とそれに関わる人々について、調べ学習や体験的な活動を行った。

1学期は、今出が浜に生息する絶滅危惧種のハクセンシオマネキやハマサジを中心に地域の自然について調べ、生き物観察を行った。

2学期は、「タコ」「イチジク」「伊予餅」の三つのグループに分かれて活動した。

活動を通して、先人の工夫や苦勞のたまものである地域のよさや、それを受け継ぎ守っている人々のすばらしさを実感した。その後、学んだことを新聞やパンフレット、ロイロノートを活用したプレゼンテーション等で表現し、学級で共有した。そして、自分たちの身近にある「人・もの・自然」を自慢に思い、地域への愛着を深め、大切にしていきたいという気持ちを高めた。

### <第5学年：防災まち歩き>

総合的な学習の時間「災害に備える」の一環として、校区在住の防災士とともに校区内の防災施設等を歩き調べる活動を行った。

まず、自主防災連合会長のお話を聞いた。校区内で実際にあった災害の様子や校区内で想定される災害、災害への備えについての話から、児童は、身近に災害が起こるかもしれないことを知り、災害を自分事として捉えることができた。

そして、九つの班に分かれ、家の周りや通学路を見て回った。海拔や防災倉庫など、児童が知らなかったことも多く、大変驚いていた。

活動後、分かったことをまとめ、学級で発表し、その後保護者に発表した。

活動を終えて、児童からは、次のような感想が出た。

- ・校区では地域で協力して災害に備えていることが分かった。家族で避難方法について話し合いたい。
- ・街角消火器や倉庫が多くあり驚いた。いざというときに使うことができるようにしておくことが大切だと分かった。

